



キャッチフレーズ

人とひととのつながりを大切に育てます。

第5期計画で力を入れたいこと

1 地域みんなで手をひろげ ～つながりの維持～

具体的な活動

- 1 地区内で活動している団体の連携をより進める。
- 2 子ども同士や大人と子どもが世代間で交流する機会を増やす。
- 3 多くの人が地域活動に参加し、もっと顔見知りが増えるようにする。



こどもフェスティバル

2 地域の中で声をあげ ～活動の継承・活性化～

具体的な活動

- 1 地域行事を通して、子どもたちに地域の伝承を伝える。
- 2 小学校・中学校と連携し、子どもが行事に参加したいと思える情報発信を行う。
- 3 掲示板を活用し、自治会・町内会、地区活動を広く届ける。



蛇も蚊も祭り

3 地域みんなが健やかに ～健康活動の促進～

具体的な活動

- 1 お祭りやスポーツなど、世代を超えて一緒に楽しめる活動を継続する。
- 2 既存の定期的な活動をさらに活性化し、新たな参加者を増やす。
- 3 みんなが気軽に集まれる「場」を作り外出する機会を増やす。



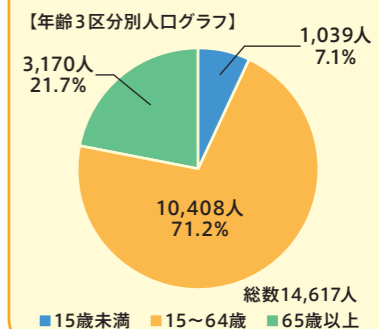
グラウンドゴルフ大会



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

鶴見区南西部に位置しており、京急生麦駅や花月総持寺駅が最寄り駅です。旧東海道や魚河岸通りなど、昔からの街並みやお祭りが残る地域です。また、ビール工場なども近くにありま



第5期計画はこのようにつくりました

- 第4期計画の振り返りを行いました
令和6年9月14日に生麦地域ケアプラザで開催された生一連絡会において、第4期計画の振り返りを行いました。その中で、一つ一つの活動を長く続けることが大事であり、活動目標についても継続していく方向性を確認しました。
- 第5期計画素案の意見交換を実施し、確定しました
令和7年6月21日の生一連絡会で、第5期計画の素案についての意見交換を実施し、出された意見を反映し、生麦第一地区の計画を確定しました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

人とひととのつながりを大切に育てます。

目標① 地域みんなで手をひろげ ～つながりの維持～

こどもフェスティバルにて、あいねっとの普及啓発のためブースを実施しました。ふれあい昼食会は配食形式からコロナ前の会食形式で再開し高齢者の交流の場となっています。にこにこサロンも子育て中の親子の集い場として知られています。

目標② 地域の中で声をあげ ～活動の継承・活性化～

地域行事である蛇も蚊も祭りや杉山神社例大祭などがコロナ禍を経て再開しています。なまいちじゃん（地区社協だより）を通じて地域情報や行事の様子など情報発信を行いました。

目標③ 地域みんなが健やかに ～健康活動の促進～

あいねっと・親睦グラウンドゴルフ大会、あいねっとサッカー教室などスポーツを通して交流の場を設けました。また、ふれあいの家で行っている夕暮れラジオ体操の参加者が増えています。